



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月14日

上場会社名 株式会社白鳩 上場取引所 東
 コード番号 3192 URL https://www.shirohato.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池上 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 服部 理基 (TEL) 075-693-4609
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の業績 (2019年3月1日~2019年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	3,970	—	△36	—	△55	—	△61	—
2019年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年2月期第3四半期	△9.28		—					
2019年2月期第3四半期	—		—					

(注)2019年2月期は決算期変更の経過期間として2018年9月1日から2019年2月28日までの6ヶ月間となっているため前第3四半期財務諸表を作成していません。このため、2020年2月期第3四半期における対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	5,810	2,723	46.9
2019年2月期	3,657	2,797	76.5

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 2,723百万円 2019年2月期 2,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の業績予想 (2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,279	—	△46	—	△68	—	△46	—	△7.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日(2020年1月14日)、2020年2月期の通期業績予想の修正を公表いたしました。上記は当該業績予想の修正後の予測値を記載しております。また、2019年2月期は決算変更により2018年9月1日から2019年2月28日までの6ヶ月決算であるため、2020年2月期の業績予想における対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年2月期3Q	6,669,700株	2019年2月期	6,641,500株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年2月期3Q	13,737株	2019年2月期	7,122株
------------	---------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年2月期3Q	6,654,623株	2019年2月期3Q	－株
------------	------------	------------	----

(注)2019年2月期は決算期変更の経過期間となることから、前第3四半期財務諸表を作成しておりません。このため、2019年2月期第3四半期における期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

前事業年度は、決算期変更の経過期間であり、2018年9月1日から2019年2月28日までの6ヶ月間となっております。このため、前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成してないため、前期比は記載しておりません。

当社の属する小売業においては、9月の日銀短観によると、大企業非製造業のD Iはプラス21でしたが、小売業はプラス4と他の非製造業に対し、依然、弱含みで推移しました。また先行きにおいてはマイナス1と2014年3月以来のマイナスに下落し消費マインドの冷え込みが懸念されます。

このような経営環境のもと、当社は「感動するインナーライフっていいね!」という企業理念のもと、9月に国内外合わせて15店舗目となるオリジナルランジェリーブランド「LA VIE A DEUX(ラヴィアドゥ)」を、10月に国内外合わせて16店舗目となる取り扱いブランド「Mode Marie(モードマリー)」を、日本最大級のファッション通販サイト『ZOZOTOWN』に出店し、ブランディングの強化と新たな顧客層の獲得に努めて参りました。しかし、消費税率引き上げによる一時的な駆け込み需要はあったものの伸びは弱く、またその反動減や消費者の節約志向の高まり等による買い控え、台風や大雨等による自然災害被害の影響もあり、厳しい環境が続いて参りました。国内サイトにおいては、前年実績は上回りましたが、消費増税後の反動減や経済産業省による「キャッシュレス・ポイント還元事業」の対象外であることによる受注の伸び悩みの影響もあり計画には僅かに届きませんでした。また海外サイトにおいては11月11日の中国最大のショッピングイベント「独身の日」におけるメーカー競合、価格競争の激化によって前年実績を大幅に下回る結果となりました。

この結果、第3四半期累計期間における売上高は3,970,094千円、営業損失は36,439千円、経常損失は55,734千円、四半期純損失は61,755千円となりました。

なお、当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、5,810,385千円となり、前事業年度末と比較して2,152,633千円の増加となりました。

流動資産は1,890,952千円となり、前事業年度末と比較して176,674千円の増加となりました。その主な要因は、売掛金の増加(前事業年度末より48,569千円増加)、シーズン商品の仕入れ等に伴う商品の増加(前事業年度末より182,226千円増加)及び未収入金の減少(前事業年度末より30,982千円減少)によるものであります。

固定資産は3,919,433千円となり、前事業年度末と比較して1,975,959千円の増加となりました。その主な要因は、新本社物流センター建設工事の進捗に伴う建設仮勘定の増加(前事業年度末より1,981,308千円増加)及びストック倉庫の除却と減価償却に伴う建物(純額)の減少(前事業年度末より26,481千円減少)によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は3,087,004千円となり、前事業年度と比較して2,226,960千円の増加となりました。

流動負債は2,004,160千円となり、前事業年度末と比較して1,287,488千円の増加となりました。その主な要因は、新本社物流センター建設工事代金等の支払資金の調達に伴う短期借入金の増加(前事業年度末より1,024,178千円増加)及びシーズン商品の仕入れ等に伴う買掛金の増加(前事業年度末より186,746千円増加)によるものであります。

固定負債は1,082,844千円となり、前事業年度末と比較して939,472千円の増加となりました。その主な要因は、

新本社物流センター建設工事代金の調達に伴う長期借入金（シンジケートローン）の増加（前事業年度末より881,250千円増加）によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産合計は2,723,380千円となり、前事業年度末と比較して74,327千円の減少となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前事業年度末より61,755千円減少）、新株予約権の権利行使による資本金及び資本準備金の増加（前事業年度末より各3,666千円増加）及び配当金の支払いによる利益剰余金の減少（前事業年度末より19,903千円減少）によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月11日に公表いたしました2020年2月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2020年1月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	203,859	199,211
売掛金	304,459	353,028
商品	1,075,035	1,257,261
貯蔵品	23,274	18,587
前渡金	4,793	439
前払費用	43,888	34,647
未収入金	57,393	26,410
未収還付法人税等	—	319
その他	2,481	1,977
貸倒引当金	△906	△931
流動資産合計	1,714,278	1,890,952
固定資産		
有形固定資産		
建物	487,926	468,987
減価償却累計額	△166,784	△174,327
建物(純額)	321,142	294,660
構築物	19,679	17,439
減価償却累計額	△13,740	△13,638
構築物(純額)	5,938	3,801
機械及び装置	9,136	9,136
減価償却累計額	△6,102	△6,511
機械及び装置(純額)	3,034	2,625
工具、器具及び備品	58,439	60,179
減価償却累計額	△46,139	△49,746
工具、器具及び備品(純額)	12,300	10,432
土地	1,291,928	1,291,928
リース資産	27,026	27,026
減価償却累計額	△16,703	△18,392
リース資産(純額)	10,322	8,633
建設仮勘定	17,432	1,998,741
有形固定資産合計	1,662,098	3,610,822
無形固定資産		
ソフトウェア	47,136	36,933
ソフトウェア仮勘定	6,647	14,709
無形固定資産合計	53,783	51,643

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
投資その他の資産		
保険積立金	131,393	148,776
出資金	813	810
従業員に対する長期貸付金	983	767
差入保証金	7,060	6,766
敷金	8,206	9,016
破産更生債権等	973	365
長期前払費用	3,406	2,706
繰延税金資産	75,583	88,064
貸倒引当金	△828	△305
投資その他の資産合計	227,591	256,967
固定資産合計	1,943,474	3,919,433
資産合計	3,657,752	5,810,385

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	36,904	53,937
電子記録債務	120,300	112,229
買掛金	187,950	374,697
短期借入金	129,469	1,153,648
1年内返済予定の長期借入金	—	18,750
未払金	126,584	164,076
未払費用	43,156	82,038
未払法人税等	14,408	—
未払消費税等	7,681	7,788
預り金	4,400	8,123
賞与引当金	31,612	15,592
返品調整引当金	399	770
ポイント引当金	8,484	9,643
その他	5,317	2,863
流動負債合計	716,672	2,004,160
固定負債		
長期借入金	—	881,250
役員退職慰労引当金	142,545	145,759
資産除去債務	826	834
その他	—	55,000
固定負債合計	143,371	1,082,844
負債合計	860,043	3,087,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,192,988	1,196,654
資本剰余金		
資本準備金	1,182,988	1,186,654
資本剰余金合計	1,182,988	1,186,654
利益剰余金		
利益準備金	1,500	1,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	420,319	338,660
利益剰余金合計	421,819	340,160
自己株式	△86	△87
株主資本合計	2,797,708	2,723,380
純資産合計	2,797,708	2,723,380
負債純資産合計	3,657,752	5,810,385

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	3,970,094
売上原価	2,431,295
売上総利益	1,538,798
返品調整引当金繰入額	370
差引売上総利益	1,538,427
販売費及び一般管理費	1,574,867
営業損失(△)	△36,439
営業外収益	
受取利息	19
受取配当金	33
債務勘定整理益	1,949
協賛金収入	489
助成金収入	1,019
開発支援金	1,354
受取補償金	30
雑収入	119
営業外収益合計	5,014
営業外費用	
株式報酬費用	3,379
支払利息	4,899
為替差損	892
アレンジメントフィー	15,000
雑損失	137
営業外費用合計	24,308
経常損失(△)	△55,734
特別損失	
固定資産除却損	16,072
特別損失合計	16,072
税引前四半期純損失(△)	△71,806
法人税、住民税及び事業税	2,430
法人税等調整額	△12,480
法人税等合計	△10,050
四半期純損失(△)	△61,755

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月29日 定時株主総会	普通株式	19,903	3.00	2019年2月28日	2019年5月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。